

事故調査委員会議事録（第3回）

令和5年2月1日

1 開催日時場所・出席者

令和5年1月31日午後3時～午後5時

出席者：近藤委員長ほか委員3名・事務局御宿・根本

ニッセー防災[]・日本ドライケミカル[]・[]

全委員・事務局等各執務場所からWEB参加

2 委員会の内容

- (1) 事務局から事務連絡（2月8日に現地での現場検証を行うこと、ニッセー防災及び日本ドライケミカルが同席すること、その際の設備士はニッセー防災において準備すること、時間を1時間繰り上げて午後1時30分開始とすることを確認された。）
- (2) 委員長が会議を主宰（会議の様子は出席者の同意を得て録画した。）
- (3) ニッセー防災及び日本ドライケミカルから見解書が提出され、その内容の説明を受けた。また、ニッセー防災宛の質問事項に対する回答に対し、各委員から質問がされた。
- (4) ニッセー防災及び日本ドライケミカルから、人為的操作以外の放水の原因について考えられる仮説をもらい、その可能性を探るべく2月8日の現場検証を行うことが確認された。当日の段取りは事前に日本ドライケミカルが提示することになった。
- (5) 最終的にはバルブを取り外し、その劣化が漏水の原因になるか否かの検証も必要になることが確認された。委員からは、取り外しによってバルブを損傷する可能性もあるので、現場で劣化を確認する方法がないかを検討すべきという意見もあった。
- (6) シンフォニエッタ楽団の現場確認については、2月13日以降であれば可能である旨を事務局から楽団に連絡することになった。
- (7) 日本ドライケミカルから裾野警察の捜査状況の確認があったが、今後近藤委員長が裾野警察の担当刑事に確認する機会（WEB会議）を設定することにした（段取りは事務局）

3 次回期日（第4回委員会）

令和5年2月8日午後1時30分～（午後5時30分を予定）

現場検証（裾野市民文化センター大ホール）

以 上